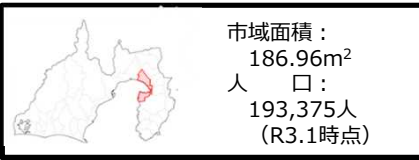


# 静岡県沼津市

## テーマ: ヒト中心で都市的魅力にあふれるまち

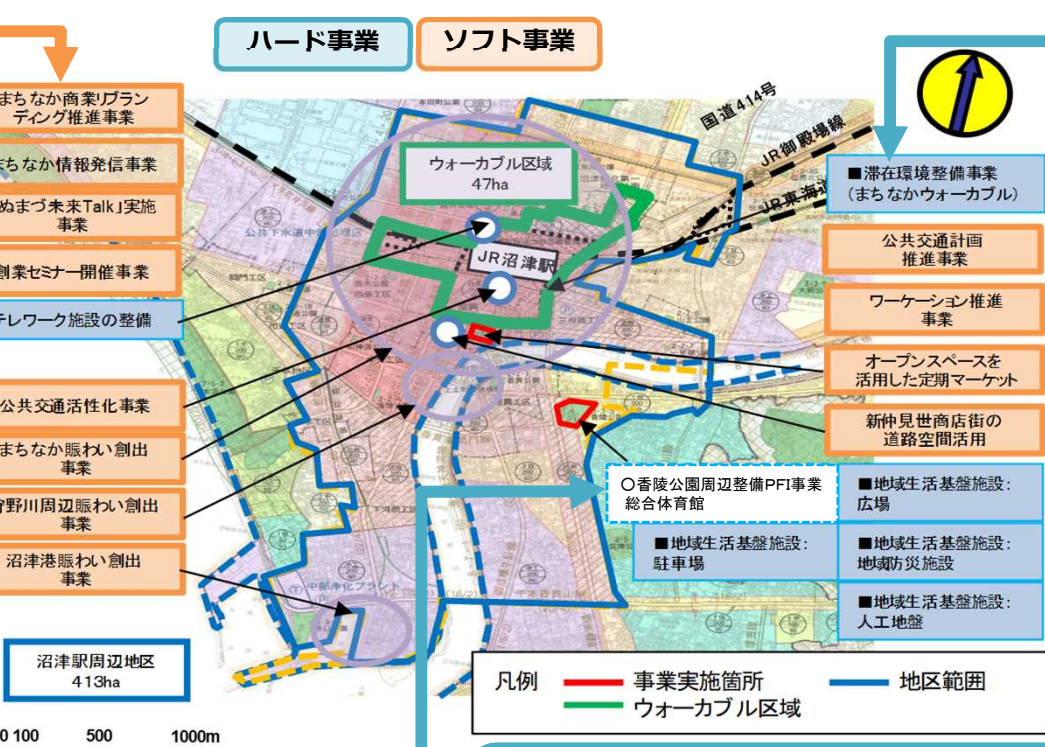


【立地適正化計画】  
平成31年4月公表（都市機能誘導区域）  
平成31年4月公表（居住誘導区域）  
【都市再生整備計画（滞在快適性等向上区域）】  
令和3年4月公表予定

○ 中心市街地の沼津駅周辺にて歩行者の回遊行動のシミュレーションモデルを構築し、公共空間再編の効果を予測・評価した上、駅前広場の再編整備計画に活かす。また、総合体育館整備と隣接する公共施設の敷地を含む外部空間の整備をPFI方式により一体的に整備することで、新たな生活様式に対応した市民の交流の場などを官民一体で創出する。

**○まちなか商業リブランディング推進事業**  
時代に合った魅力ある商業について研究し、個店の魅力を高めるとともに、商業者間でのビジョンやイメージを共有することで、個店及びエリアの魅力や価値の向上を図る。  
まちなか商業リブランディング推進事業（イメージ）

**○テレワーク施設（コワーキングスペース等）の整備**  
沼津駅北口の「ぬましんコンパス」（沼津信用金庫が整備・運営）を核として、沼津市・沼津信用金庫・沼津高専・沼津商工会議所などの産官学金が連携し相談対応を行うことにより、創業者の創出・支援を実施。



**○公共空間再編整備計画**  
歩行者の回遊行動を再現するために構築したシミュレーションモデルを活用し、駅前広場や駅前街路の空間再編を行った際の歩行者の回遊行動をシミュレートすることで、事前に公共空間再編の効果を予測・評価。上記の結果を反映し、駅前広場・駅前街路等の再編整備を示す「公共空間再編整備計画」を策定。

**○ヒト中心の公共空間の創出と利用**  
新型コロナウイルスによりオープンスペースの重要性が再認識され、多様性を有する質の高いオープンスペースやゆとりある公共空間を創出するとともに、その空間を活用するなど、官民一体で新たな価値の創出に向けて取り組む。

イメージ図

**○総合体育館の外部空間の活用**  
総合体育館の建設と併せ、隣接する文化センター周辺を含む外部空間を一体的に整備するとともに、利用ルールの弾力化や各種イベントの開催により、新たな生活様式にも対応した市民の交流を創出

イメージ図 →

### 目標設定

**中心市街地の歩行者量**  
中心市街地の歩行者量を増加基調に  
(従前値) 63,851人/日 (平成30年)  
→ (目標値) 67,316人/日 (令和5年)